

吹奏楽部の組織体制について

- ・5月中旬より^{※1}適性検査を行い、赤組（座奏）白組（マーチングバンド）青組（ダンスバンド）に振り分ける。
- ・適性検査は、赤・白・青（^{※2}黄）それぞれ担当の顧問が楽器の適正及び希望アンケート、^{※3}健康状態等を聴き取り、顧問で話し合い、総合的に判断する。また、各チームの力量が偏らないように振り分ける。
- ・2018年6月時点での人数配分は赤55名・白104名・青75名、合計234名である。
- ・演奏会への出演は^{※4}基本的に全員が出演する。
- ・大会への参加は、それぞれチームごとに出場する。（ ）は大会の規定の人数。
→赤「吹奏楽コンクール（55名）」白「マーチングコンテスト（81名）」「マーチングバンド大会（91名以上）」青「日本管楽合奏コンテスト（36名以上）」
「全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜（なし）」
また、3月に行われる「全日本高等学校選抜吹奏楽大会（なし）」については、1, 2年生全員で参加している。しかし、人数制限のある大会もあり、白組は、「マーチングコンテスト」に出場できる人数が81名となっている。したがって、白組の中でさらに適性検査を行っている。また、演奏会が近づくと、部員全員で練習をしている。
- ・各チームの目指す目標？（大会）は上記の通り。それぞれの全国大会出場に向けて練習に取り組んでいる。
- ・練習時間は、各チームの練習の進捗状況や、学校以外の練習会場（ホールや体育館）を使用する場合には、練習終了時間が19時を過ぎる場合があるが、基本的には19時で終了している。その後、音楽大学進学希望者や、さらに個人で練習を希望する生徒には、^{※5}20時半までは認めている。また、朝練習・昼練習は自由参加としているが、個人の課題をこなすために多くの部員が参加している。

- ※1 楽器の技術や身体能力を見る。また、人間関係を配慮することもある。
- ※2 自分のペースで演奏したい生徒や大会へ参加の意思がない生徒が所属。現在は所属している生徒はいない
- ※3 持病や体力面に不安があり、ダンスやマーチングができない生徒がいるため。
- ※4 公欠での演奏会の場合、成績不振者などは授業を受けさせる。
- ※5 現在は行っていない。